

ユネスコスクールとしての秋田商業高校の取り組み



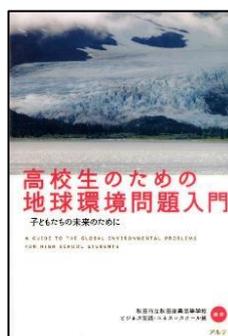
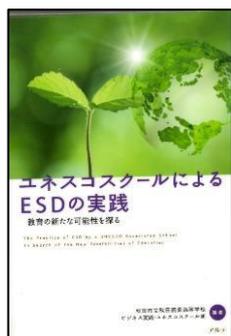
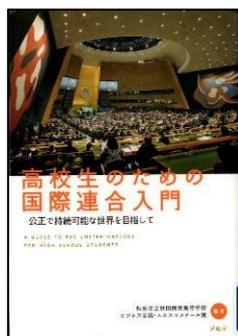
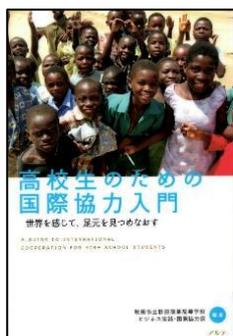
1. ユネスコスクール加盟への道のり

- 2002年 「ビジネス実践」の授業開始
「総合的な学習の時間」内で、地元商店街の協力を得ながら実施した実践的商業学習
- 2004年 文部科学省の「目指せスペシャリスト」研究事業として採択
ビジネス実践活動や国際交流を柱とする学習を推進
- 2006年 「国際取引交流課（国際協力課）」の生徒たちが外部機関と連携した活動を展開
 - ・フェアトレード商品の仕入れ、販売
 - ・JICA職員による出前講座
 - ・「A・A（秋田・アフリカ）プロジェクト」への参加…スポーツ用品の寄付など
 - ・自分たちの活動や研究内容を一般市民に発表
- 2008年 国際理解教育奨励賞「馬場賞」受賞
- 2009年 ユネスコスクール加盟…秋田県内で2校目（全国で約80校）
- 2009年 「国際協力課」を「ユネスコスクール班」と改称
- 2010年 アフリカスタディツアーの実施
生徒4名がウガンダ共和国訪問
- 2013年 「ユネスコスクール班」を「エコロジカルビジネス班」へと名称変更
活動内容が、国際協力から環境保護へシフトし、NGO（環境保護活動）による講義や施設見学などが中心となる
- 2022年 ユネスコスクール本部からの「中期活動改善計画」提出の要請
SDGs達成へのアプローチを中心に据えた計画を立案し、現在に至る



2. 年1冊のペースで生徒達の活動などをまとめた書籍を出版

- 『高校生のための国際協力入門』（2008年）／『高校生のための国際連合入門』（2009年）
- 『高校生のためのアフリカ理解入門』（2010年）／
- 『高校生のための地球環境問題入門』（2012年）／
- 『ユネスコスクールによるESDの実践』（2013年）



3. ユネスコスクールとしての取り組みを見直す

2022年3学期から「総合的な探求の時間」内で、様々な取り組みを行っている

◎市役所職員による講話

- ①人口減少・移住定住対策課「シティプロモーションとシビックプライド」
- ②環境都市推進課「食品ロスから考えるSDGsの観点に基づくビジネス展開」

◎本校教員による講義

「ユネスコスクール」「SDGs」の基本的な内容について

◎生徒会の動き

3月 各クラスでの話し合い

SDGs課題の認識、解決のために自分たちができることをまとめ、次年度のテーマを決定

4月 生徒会による全校生徒へのオリエンテーション開催

ビジネス実践授業での、SDGsに配慮した商品・サービスの考案

4. 今年度のビジネス実践の取り組み

「未来へのおくりもの～誰一人取り残さない持続可能な社会へむけて」というテーマを決める

◎広報課：ユネスコスクールとしての活動を紹介し、持続可能な社会やSDGsの開発目標への理解を深めるための広報活動

◎イベント課：廃棄物（ゴミ）を利用したゲームやアート制作

◎CM課：SDGsに関する情報発信

◎開発課：ターゲットを明確にし、SDGsに配慮した商品開発

◎地域貢献課：地域の魅力を伝える観光ツアー、地元野菜の販売を通じた地域交流、ビジネスプランの提言

◎生徒会活動：日常生活の中で、ペットボトルキャップや古紙の回収の実施

学校でのエネルギー使用量を定期的に全校生徒に報告し、節約を意識する

5. 秋商トイレットペーパー「未来へのおくりもの」ができるまで

校内で集めた古紙 約225kg（回収期間 4月1日～7月31日）を、株式会社「能代製紙」のご協力のもと、リサイクルトイレットペーパーにすることができました。ラベルの帯は、本校の情報コース80名がデザインしました。

AKISHOPで販売し、私たちのユネスコスクールとしての取り組みを知ってもらうとともに、売上金の一部を災害義援金として寄付します。

